令和 3 年度 宝木中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

- (1) 基本目標 「人間尊重の教育を基盤に，知・徳・体の調和のとれた発達を目指し，心身共に健康で知性と創造性に富み，心情豊かでたくましく未来を拓く人間の育成」
- (2) 具体目標（具体的な生徒像）
- ① 気力・体力のあるたくましい生徒（たくましく）
 - ② 自ら学びよく考える生徒（さとく）
 - ③ 心豊かで礼儀正しい生徒（あかるく）
 - ④ 協力し社会に役立つ生徒（いきいきと）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

学校は ○子どもたちにとって居心地のよい楽しい場所であること
 ○教職員の「生きがい」や「やりがい」を感じる場所であること
 ○保護者，地域の皆様から信頼される場所であること
 このように，信頼と心の触れ合いを基盤とした，豊かな人間関係に支えられた**ぬくもりと夢のある学校**づくりを推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 学習指導要領や第 2 次宇都宮市学校教育スタンダード等の趣旨をふまえるとともに，生徒の実態や学校・地域の特色を生かした特色ある教育課程の編成・実施に努める。
- (2) 生徒の実態に応じた指導方法や指導体制の工夫・改善を図り，生徒一人一人の確かな学力の育成に努める。
- (3) 生徒理解を基盤として生徒指導の充実を図るとともに，生徒の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導や長期的な視点に立った特別支援教育を推進し，望ましい人間関係や豊かな人間性・社会性の育成に努める。
- (4) 道徳科の充実を図り，生徒一人一人の道徳的実践力を高めるとともに，読書活動や体験活動を一層推進し，生徒の内面に根ざした道徳性の育成に努める。
- (5) 家庭との連携を強化し，健康管理や体力づくり，食に関する指導の充実を図るなど，生徒が将来にわたって健康に生活していく基盤づくりに努める。
- (6) 生徒の発達の段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育，進路指導を推進し，社会的・職業的な自立に向け必要となる能力・態度の育成に努める。
- (7) 校内の事務の効率化や簡略化等を図り，生徒に向き合う時間の確保と教職員の負担軽減に努める。
- (8) 児童生徒の 9 年間の成長を見通した小中一貫教育を推進し，学校園で共通理解を図りながら，宝木地域学校園が目指す心豊かな生徒の育成に努める。
- (9) よき伝統や地域の特色，教職員の創意工夫を生かした SDGs の取組など特色ある学校づくりの推進に努める。
- (10) 積極的な情報提供など家庭・地域社会との連携を一層深めるとともに，魅力ある学校づくり地域協議会を効果的に活用し，生徒の地域行事への協力やボランティア活動を通して，地域とともにある学校づくりの推進に努める。

[宝木地域学校園教育ビジョン]

テーマ「いきいき宝木」心豊かな宝木っ子の育成を目指します。

他を思いやる心や規範意識を育み，基本的生活習慣や主体的に学ぶ態度を身に付けさせる指導の充実

4 教育課程編成の方針

- (1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ，これらを活用して課題を解決するために必要な思考力，判断力，表現力等を育むとともに，主体的に学習に取り組む態度を養い，多様な人々との協働を促す教育の充実を努める。
- (2) 小中学校の連携を図り，生徒会や各教科の出前授業などの交流を継続する。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- 【 学 校 運 営 】○生徒の学力向上を目指し，教員の授業力向上並びに学業指導，キャリア教育の推進
- 【 学 習 指 導 】○授業のねらいに基づいた振り返りと自主学習ノート等の活用による家庭学習の習慣化
- 【 児 童 生 徒 指 導 】○自己肯定感や自己有用感を育てるとともに，よりよい人間関係づくりと不登校対策の推進
- 【健康（体力・保健・食・安全）】危険の予測や危機回避能力の育成を図る安全教育

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所を下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目 指 す 生 徒 の 姿	A 1 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答85%以上	①「主体的・対話的で深い学び」の実現を進めるために、単元の学習の、どこで見通しを立てる活動を入れるか、どこで話し合い活動を入れるかを考慮して、単元の計画を立てて、実行する。	B	【達成状況】 数値目標を達成した。(＋7.1ポイント) 【次年度の方針】 ・「主体的・対話的で深い学び」の実現を進めるために、授業の年間指導計画の見直しを進め、授業改善を進める。
	A 2 生徒は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上	①道徳の授業では、資料提示と発問の工夫を行い、判断力等が高められるようにしていく。 ②日々の授業や学校行事などで、友達と互いのよさを感じられるような活動を取り入れ、思いやりや協働する心を育てる。	B	【達成状況】 数値目標を達成した。(＋12.7ポイント) 【次年度の方針】 ・道徳の授業や学校行事などで、友達と互いのよさを感じられるような雰囲気を醸成する。
	A 3 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答85%以上	①学年学級委員会などと協力し、授業開始のチャイムが鳴る前に自ら着席するなど、時間に余裕を持って行動できるよう指導する。 ②ネットトラブル防止に関する指導を、全体及び学年ごとに実施する。また、保護者会の機会を捉えて情報提供し、理解・協力を要請するとともに、小学校との連携も強化する。	B	【達成状況】 数値目標を達成した。(＋6.3ポイント) 【次年度の方針】 ・生徒会を中心とした、きまりやマナーを守るための主体的な活動を支援する。
	A 4 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答90%以上	①「先言後礼」や「茶道教室」を通して、礼儀作法の大切さに気付かせ、真心を込めてあいさつができるよう指導する。 ②道徳の授業で言葉づかいやあいさつに表れる人間関係や自身の心のありようをじっくり見つめ直すことの大切さを指導する。	A	【達成状況】 数値目標を達成した。(＋4.9ポイント) 【次年度の方針】 ・「茶道教室」や道徳の授業であいさつの大切さを気付かせ、生徒会主体で行っているあいさつ運動の充実を図る。
	A 5 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上	①学校行事や部活動を通して最後まで粘り強くやり通す力がつくように適切な目標を設定させ、支援する。 ②家庭学習の適切な目標を設定するために自主学習シートを適時使用し、毎日自主学習を提出させることで計画的に学習する習慣を育成する。	B	【達成状況】 数値目標を達成した。(＋7.1ポイント) 【次年度の方針】 ・部活動や家庭学習などで、目標を達成するために粘り強く取り組むことができるよう指導していく。
	A 6 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上	①スタンダードダイアリーに掲載されている「元気っ子生活習慣チェック」表を活用し、振り返りをさせながら、健康の重要性を啓発する。 ②事前に必要な知識を教え、生徒が自分の判断で避難行動ができるよう、計画的な避難訓練を実施する。 ③「マスクの着用」及び「手洗いなどの手指衛生」など「新しい生活様式」を導入し、感染およびその拡大のリスクを可能な限り低減できるよう、指導を継続していく。	B	【達成状況】 数値目標を達成した。(＋14.7ポイント) 【次年度の方針】 ・安全教育の充実を図り、生徒が自らの判断で避難行動ができるよう計画的に指導していく。

<p>A7 生徒は、夢や目標をもって、社会に貢献できるように努力している。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上</p>	<p>①キャリアパスポートを活用し、学習したことを積み重ねていく過程で振り返りや反省を繰り返すことにより、学習した内容の深化を図り、進路に関する目標を考えさせる。</p> <p>②地区体育祭や宝木まつりなどの地域活動やボランティア活動に参加するよう、教室へのチラシ掲示や、生徒会からの働きかけを行い、社会貢献を積極的に行う態度を育成する。</p>	A	<p>【達成状況】 数値目標を達成した。(＋7.1ポイント)</p> <p>【次年度の方針】 ・キャリア教育の充実を図り、進路に関する目標を明確にしていく。 ・ボランティア活動に参加できる機会を与え、社会貢献を積極的に行う態度を育成する。</p>
<p>A8 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上</p>	<p>①英語の授業の初めに、Small Talk の時間をとり、指導者と生徒が英語でやりとりする活動を行う。</p> <p>②ALT との TT の授業では、生徒が ALT に積極的に話しかけられるような雰囲気を作ると共に、生徒と ALT が直接話す場面を数多く設定する。</p>	A	<p>【達成状況】 数値目標を達成した。(＋5.7ポイント)</p> <p>【次年度の方針】 ・英語の授業や休み時間等で英語を使う場面を増やすことができるよう工夫していく。</p>
<p>A9 生徒は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上</p>	<p>①断郊協歩大会において、大谷資料館や多気山、市美術館を見学し、宇都宮の歴史や文化を学び、俳句作りや振り返り等で深化を図る。</p> <p>②総合的な学習の時間の年間指導計画に、宇都宮学を位置づけ実践するなど研究を深める。</p>	B	<p>【達成状況】 数値目標を達成した。(＋0.1ポイント)</p> <p>【次年度の方針】 ・断郊協歩大会を利用し、総合的な学習の時間に学ぶ「宇都宮学」の深化を行う。</p>
<p>A10 生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上</p>	<p>①タブレット等の研修を充実させ、積極的な活用を図る。</p> <p>②図書室にある授業に関連する資料を、各教科で活用するために、単元の学習のどこで活用するか研究し、カリキュラムの中に位置付ける。</p>	A	<p>【達成状況】 数値目標を達成した。(＋6.8ポイント)</p> <p>【次年度の方針】 ・授業でのタブレット端末の利用方法を研究し、効果的な活用を図る。</p>
<p>A11 生徒は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上</p>	<p>①福祉委員会を中心に、宝木荘へビデオレターなどの交流を通して、高齢者に対する感謝やいたわりの心を育てる。</p> <p>②活動の様子をLロードの掲示、学校だより、HP等を活用して情報を発信する。</p>	B	<p>【達成状況】 数値目標を達成した。(＋12.7ポイント)</p> <p>【次年度の方針】 ・福祉委員会を中心とした老人ホームとの交流を通して、高齢者に対する感謝やいたわりの心を育てる。</p>
<p>A12 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上</p>	<p>①SDGsの取組を、教科横断的な視点で各教科の関わりを検討し、カリキュラムの中に位置付ける。</p> <p>②環境ISOを通して、資源のリサイクルやエネルギーの節約を、生徒会活動として行う。</p> <p>③生徒会委員会を活用し、移動教室時における消灯や冷暖房の電源断を行わせたり、現況を生徒会朝会等で発表させたりして、持続可能な社会についての関心を高める。</p>	B	<p>【達成状況】 数値目標を達成しなかった。(－1.9ポイント)</p> <p>【次年度の方針】 ・SDGsの取組を、各教科で学習できるよう工夫する。 ・生徒会委員会を活用し、日常的に行う活動を通して、持続可能な社会への関心を高める。</p>

目 指 す 学 校 の 姿	<p>A13 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①毎週の教育相談部会、及び校内支援委員会(年3回)を通して、一人一人の教育的ニーズを把握する。</p> <p>②特別支援小委員会やケース会議を適宜開き、チームで方向性を協議しながら支援を行う。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 数値目標を達成した。(+20.0 ポイント)</p> <p>【次年度の方針】 ・教職員間の連携を図りながら、一人一人の教育的ニーズを把握し、支援を行う。</p>
	<p>A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答90%以上</p>	<p>①道徳・学活の年間指導計画に、いじめ根絶に向けた授業を年4回位置付け、実施する。</p> <p>②5月、9月、12月、2月に「いじめの調査」を実施し、未然防止、早期発見・早期対応、に努める。</p> <p>③「学校いじめ防止基本方針」に基づいた研修を行い、教職員の意識を高める。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 数値目標を達成した。(+4.7 ポイント)</p> <p>【次年度の方針】 ・道徳・学活の授業で、いじめ根絶に向けた授業を実施する。 ・「学校いじめ防止基本方針」に基づいた研修を行い、教職員の意識を高める。</p>
	<p>A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①挨拶、励まし、賞賛等の言葉かけや、生徒が活躍できる場面を設定し、学級が生徒の居場所となるような温かい雰囲気を作る。</p> <p>②スタンダードダイアリーを活用し、生徒理解を深めるとともに、日常的な生徒の観察を充実させる。</p> <p>③意図的・計画的に教育相談を実施し、配慮生徒への支援を行う。(ケース会議・チーム対応)</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 数値目標を達成した。(+17.1 ポイント)</p> <p>【次年度の方針】 ・日常的な生徒の観察を充実させ、教職員で連携を図りながら配慮生徒への支援を行う。</p>
	<p>A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 50%以上</p>	<p>①該当生徒・保護者と面談し、個に応じた支援をチームで検討し、実践する。</p> <p>②日本語指導ボランティアを含めたチームで個別の指導計画を作成し、実態に応じた支援に当たる。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 数値目標を達成した。(+50.0 ポイント)</p> <p>【次年度の方針】 ・該当生徒・保護者と面談し、個に応じた支援をチームで検討し、実践する。</p>
	<p>A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答85%以上</p>	<p>①各種学校行事において、生徒会を中心に、生徒の主体的活動を積極的に取り入れ、リーダーの育成を図るとともに、生徒同士が主体的に活動する態度を育てる。</p> <p>②Q U等を活用し、学級での潤滑な人間関係づくりができるよう個々に応じた指導を行う。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 数値目標を達成した。(+1.0 ポイント)</p> <p>【次年度の方針】 ・各種学校行事において、リーダーの育成を図り、生徒同士が主体的に活動する態度を育てる。 ・Q U等を活用し、個々に応じた指導や相談を行う。</p>
	<p>A18 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答85%以上</p>	<p>①授業で本時のねらいの提示と、生徒各自のふり返りを確実に実施する。</p> <p>②一人一授業を少人数グループで実施し、授業後のグループでの意見交換会の他に、全体研修会を持ち、授業力の向上を図る。</p> <p>③OJT 機能を使い、重点的に若手教員の授業力向上を図る。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 数値目標を達成した。(+8.8 ポイント)</p> <p>【次年度の方針】 ・研修やOJT 機能を使い、教職員の授業力向上に努める。</p>

<p>A 19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①学級活動や総合的な学習の時間等における調べ学習で利用する本の選定の仕方に関する情報などを、学校図書館司書教諭や栄養教諭等と連携して生徒に提供する。</p> <p>②教育相談及び生徒指導会議で今後の指導の手立てや方針を確立し、組織的な対応に努める。特別支援コーディネーターを中心に、SC, SCM, との連携を密にする。</p>	A	<p>【達成状況】 数値目標を達成した。(+11.4 ポイント)</p> <p>【次年度の方針】 ・教育相談や生徒指導上の課題に対して、教職員が連携し組織的に対応できるよう工夫していく。</p>
<p>A 20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 教員の肯定的回答80%以上</p>	<p>①仕事の効率化のため各教科の物品や行事等で使用する物品の保管場所を整理し、機能的な環境をつくる。</p> <p>②文書の保管場所を設定するとともに、データの保存場所を整理する。</p> <p>③会議の効率化のため、早めの起案を心掛け、要点を整理して提案する。</p>	A	<p>【達成状況】 数値目標を達成しなかった。(-14.3 ポイント)</p> <p>【次年度の方針】 ・教職員の意識改革を行いながら、仕事の効率化を進めていく。</p>
<p>A 21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上</p>	<p>①地域学校園各部会の取組について、部会報告及び地域学校園だよりに掲載し、全職員に配布するとともに地域学校園掲示板に掲示する。</p> <p>②生活面学習面での連携をとり、小学校の学習と中学校の学習につながりを持たせる。【あいさつ運動、家庭学習等】</p> <p>③地域学校園小学校の先生の中学校への授業参加の充実を図る。</p>	A	<p>【達成状況】 数値目標を達成しなかった。(-3.3 ポイント)</p> <p>【次年度の方針】 ・生活面や学習面で小学校と中学校のつながりを持たせ、地域学校園の連携を深める。</p>
<p>A 22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①茶道教室を通して礼儀作法の学習を行う。</p> <p>②断郊協歩大会を行い郷土の自然や風景に接し、これらを末永く大切にしようとする心を育てる。</p> <p>③ふれあい文化教室を通して日本の伝統的な楽器演奏を体験する。</p>	A	<p>【達成状況】 数値目標を達成した。(+8.8 ポイント)</p> <p>【次年度の方針】 ・断郊協歩大会や防災教育を地域の協力を得ながらすすめ、特色ある教育活動を展開する。</p>
<p>A 23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい生徒の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①「茶道教室」、「働く人に学ぼう」など、総合的な学習の時間において地域の人材を活用する。</p> <p>②学力向上のための「放課後自習支援」や農作物育成のための「畝立て」などにおいて地域の人材に協力を求め、学校教育を推進する。</p> <p>③「理科における博物館との連携授業」、「放課後の高校説明会」など、関係機関や企業等と連携した活動を行う。</p>	B	<p>【達成状況】 数値目標を達成した。(+20.0 ポイント)</p> <p>【次年度の方針】 ・総合的な学習の時間の「茶道教室」や「働く人学ぼう」などにおいて地域の人材を活用し、よりよい生徒の育成を目指す。</p>
<p>A 24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①毎月の安全点検を確実に実施し、学校業務嘱託員や機動班との連携を図り、修繕箇所の早期改善に努力する。</p> <p>②適切な感染症対策を実行する。</p>	B	<p>【達成状況】 数値目標を達成した。(+20.0 ポイント)</p> <p>【次年度の方針】 ・毎月の安全点検を確実に実施し、修繕箇所の早期改善に努力する。 ・適切な感染症対策を実行する。</p>

	<p>A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①タブレット端末の利用方法について教職員間で共通理解を図り、生徒一人一人が日常的に正しく使うための研究を進める。</p> <p>②ICT機器を授業で利用しやすいように、貸し出し簿を整備し、保管場所を明らかにするなど、使いやすさに配慮して適切な管理を行う。</p> <p>③学校図書館司書教諭と各教科担当者が連携し、各教科に必要な図書を整備する。</p>	A	<p>【達成状況】 数値目標を達成した。(＋17.1ポイント)</p> <p>【次年度の方針】 ・授業や家庭学習において積極的にICT機器が利用できるよう、タブレット端末の効果的な活用法について研究を進める。</p>
<p>本校の特色 ・課題等</p>	<p>B1 生徒は、家庭学習に意欲的に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答85%以上</p>	<p>①家庭学習の手引き等を年度当初のオリエンテーションや三者懇談で学級担任から、保護者等で学習係から説明する。</p> <p>②自主学習ノートの形式を工夫し、ねらいをもって取り組めるように継続して指導する。</p> <p>③自主学習ノートを点検し、家庭学習の向上について啓発していく。</p>	B	<p>【達成状況】 数値目標を達成した。(＋4.0ポイント)</p> <p>【次年度の方針】 ・タブレット端末を利用するなど家庭学習の内容に工夫を加え、ねらいをもって家庭学習に取り組めるよう指導していく。</p>

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

市全体と本校を比較してみると、肯定的回答割合は、教職員が26問中19、保護者が20問中11、生徒が21問中12問の質問で市全体を上回った。また、本評価の数値指標は26項目中19項目で達成した。今年度も、生徒は明るく落ち着いて、充実した生活を送ることができた。これらのことは、昨年度より実施可能になった活動が増えたことだけでなく、本評価書などのPDCAが機能したものと考えている。

「学校は「小中一貫・地域学校園」の取組を行っている」についての生徒の肯定割合は、市全体より14.7ポイントと大きく上回り、昨年度と比較しても7.9ポイント上回った。このことは、小学校と連携したあいさつ運動を行い、年間を通して生徒会を中心にあいさつ運動を行った結果であると考えている。

「生徒は、パソコンや図書等を学習に活用している」と「教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かい指導をしている」の生徒の肯定割合は、共に昨年度より共に約8ポイント向上し、市全体の平均を上回った。今後もGIGAスクール構想により導入されたタブレット端末を活用しながら、よりきめ細かい指導を実施するために研究を重ねていく。

生徒、保護者、地域住民、教職員のすべての肯定割合で、市全体を大きく下回るものはなかったが、「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる」についての教職員の肯定割合は、市全体と同程度であるものの、昨年度と比較して15.5ポイントと大きく下回った。このことを受けて、今後は、これまでの学校の働き方改革を積極的に見直し、限られた時間の中で子どもたちと向き合う時間を十分に確保していきたい。

7 学校関係者評価

- ・「生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。」についての肯定割合は、教職員・保護者・地域住民・生徒のすべてにおいて90ポイント以上ですばらしい。今後も小学校と中学校が連携したあいさつ運動を継続してもらいたい。
- ・学校全体が明るくいいきとした雰囲気であることが、地域での生徒の明るいあいさつにつながっていると思う。
- ・全体的に、保護者及び地域の皆様の肯定的回答の割合が、昨年度より上がっていてすばらしい。コロナ禍にあっても、実施できることに積極的に取り組んだ結果だと感じる。
- ・地域協議会と連携して防災教育を実施することができたので、今後も継続して取り組んでもらいたい。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

・「家庭学習の習慣化」、「不登校対策」、「安全教育の充実」など本校の重点目標の成果が着実に表れてきており、年々向上している。今後も教職員の資質向上に向けて校内研修を充実させ、生徒一人一人と向き合う時間を確保し、個に応じた対応をしていく。

・一人一台端末を利用して家庭学習ができるように、「AIドリル」の利用方法や課題の出し方を工夫していく。

・地域と共に歩む学校づくりを進めるために、学校での様子を広く発信し「家庭・地域」との連携を強めていく。

○今後も、地域学校園の小中で連携して9年間を見据えた指導を行い、夢や希望を持ち、学習に積極的に取り組む生徒を育てていく。